

事業の概況

2015年度事業の概況

第5期中期計画（2014年～2016年度）の中間年に当たる2015年度は、前年度に引き続き、事業計画に事業戦略の基本として「ガバナンスを重視した経営管理」と「価値づくり」活動による金庫改革を据えるとともに、収益基盤の確立、連帯と協働の深化、「人材」の育成、内部管理態勢の強化等を掲げ、取り組みを進めてまいりました。

まず組織体制については、重要課題に迅速かつ効率的に対応し、本部・営業店一体となった機動的な体制とするため、本部組織のスリム化、営業店の事務集中化の検討に着手しました。また本部の諸会議について、構成員の整理・見直しを行いました。

「価値づくり」活動については、タスクフォースの提言の具体化に取り組み、相統定期預金「家族のたすき」等の新商品を発売しました。

収益基盤の確立については、会員・推進機構と協働して「暮らしステップアップ運動」を展開し、給与・年金口座獲得や積立型預金等の拡大に努めるとともに、各種ライフプランセミナーや年金相談会を開催して生涯取引を推進しました。一方、融資については「創立15周年記念プレキャンペーン」の一環として住宅ローンの金利見直しを実施したことをはじめ、教育ローンのカード型や無担保の住宅ローンに団体信用生命保険をプラスした新商品等を投入して増強に努めました。この結果、預金、融資ともに事業計画に掲げた目標額を達成いたしました。

インフラの整備では、6月に大聖寺支店を新築・移転したほか、店舗修繕計画に基づき、営業店の改修を行いました。また、「店舗政策委員会」を発足させ、今後の店舗整備とともに、営業店のあり方についての検討にも着手しました。

一方、信頼される「人材」を育成するため、新人事賃金制度の導入、能力開発体系・教育制度の見直しに取り組み、専門知識の向上やお客様満足度向上を図ってきました。

会員及び出資金

1,953会員、40億56百万円

団体会員は22会員減少し、1,953会員となりました。（新規会員10、脱退会員32）

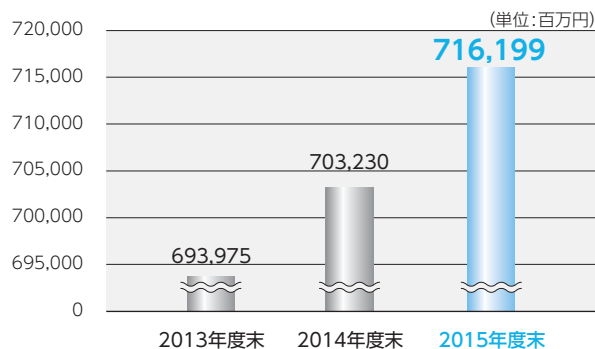
出資金は法定脱退分214万6千円が減少し、出資総額は40億5,608万4千円となりました。

預 金

7,161億99百万円

預金は129億69百万円増加し、期末残高は7,161億99百万円となりました（増加率1.84%、残高目標達成率100.55%）。このうち個人預金は113億68百万円、団体預金は16億1百万円増加しました。

■ 預金残高の推移（譲渡性預金を含む）



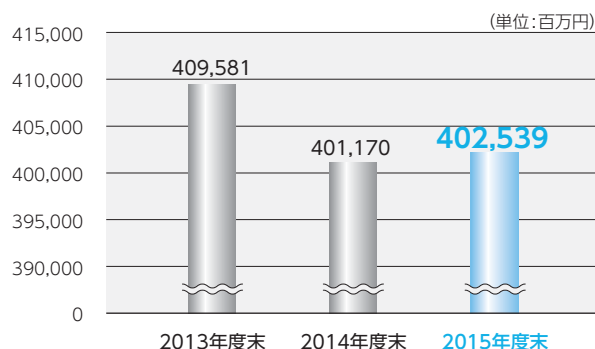
貸 出 金

4,025億39百万円

貸出金は13億68百万円増加し、期末残高は4,025億39百万円となりました（増加率0.34%）。このうち、個人貸付は18億79百万円増加し、団体貸付は5億10百万円減少しました。

新規実行額は個人貸付全体で508億円となり、達成率101.66%と目標を達成しました。

■ 貸出金残高の推移



収益の状況

当期純利益 5億50百万円

経常収益は106億56百万円となり、前年度比8億97百万円の減収となりました。

貸出金利息は、貸出金利回りの低下から前年度比4億26百万円減少し、預け金利息は市場金利が低下した影響等で前年度比86百万円減少しました。一方、有価証券利息配当金は国債や外国債券の残高が増加したことから、前年度比75百万円増加しました。

その他業務収益は国債等債券売却益が前年度比37百万円減少したことなどから、前年度比70百万円減少しました。

また、その他経常収益は株式等売却益が前年度比5億2百万円減少したことにより、前年度比4億95百万円減少しました。

一方、経常費用は97億37百万円となり、前年度比3億71百万円減少しました。

経費は全体として80億96百万円となり、前年度比3億80百万円の減少となりました。

以上により、経常利益は9億19百万円（前年度比5億26百万円減少）、特別損益を加味した税引前当期純利益は8億21百万円（前年度比5億75百万円減少）、税引後の当期純利益は5億50百万円（前年度比4億14百万円減少）となりました。

自己資本比率

10.56%

2015年度末の自己資本比率は10.56%となり、引き続き国内基準である4%を大きく上回る水準を維持しています。（詳しい内容については44～57ページをご覧ください。）

リスク管理債権比率

0.87%

2015年度末のリスク管理債権比率は0.87%となりました。（詳しい内容については58ページをご覧ください。）

主要な経営指標

■ 主要な事業の状況を示す指標

（単位：百万円）

項目	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度
経常収益	10,656	11,554	11,804	12,123	12,632
経常利益	919	1,445	1,161	1,635	1,982
当期純利益	550	964	905	1,102	1,183
業務純益	951	1,016	923	1,941	1,975
純資産額	38,362	37,459	35,710	34,780	32,565
総資産額	760,026	746,391	735,697	730,957	719,251
預金積金残高（譲渡性預金除く）	714,949	702,900	693,645	689,035	679,241
貸出金残高	402,539	401,170	409,581	408,183	418,936
有価証券残高	64,091	60,350	50,960	47,901	49,300
出資総額	4,056	4,058	4,058	4,058	4,058
出資総口数（口）	4,056,084	4,058,230	4,058,230	4,058,230	4,058,230
出資に対する配当金	162	162	161	161	161
職員数（人）	468	468	472	483	489
単体自己資本比率	10.56%	10.62%	10.42%	10.22%	9.86%

（注）1. 貸借対照表関係の項目については、各年度の期末残高を記載しています。

2. 当金庫は、「労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、労働金庫及び労働金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号）」により、自己資本比率を算定しています。この告示は平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されております。このため、2012年度（平成24年度）以前については旧告示に基づく結果を、2013年度（平成25年度）以降においては、新告示に基づく結果の開示を行っております（以下同じ。）。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

3. 「業務純益」とは、「業務粗利益」から、「一般貸倒引当金繰入額」及び「経費」を控除したもので、金融機関の基本的な業務の成果を示すといわれる利益指標です。

■ 主要な業務の状況を示す指標

(単位:百万円、%)

項目	2015年度	2014年度
業務粗利益	8,999	9,391
業務粗利益率	1.22	1.29
資金運用収支	9,616	9,943
役務取引等収支	△ 779	△ 781
その他業務収支	162	228
資金運用勘定平均残高	735,162	723,866
資金運用収益	9,928	10,273
資金運用収益増減(△)額	△ 344	△ 400
資金運用利回り	1.35	1.41
資金調達勘定平均残高	715,292	704,720
資金調達費用	311	329
資金調達費用増減(△)額	△ 17	△ 48
資金調達利回り	0.04	0.04
資金調達原価率	1.16	1.23
総資金利鞘	0.19	0.18
総資産経常利益率	0.12	0.19
総資産当期純利益率	0.07	0.12
総資産業務純益率	0.12	0.13
純資産経常利益率	2.40	3.87
純資産当期純利益率	1.44	2.58
純資産業務純益率	2.49	2.72

(注) 1. 「業務粗利益」とは、預金、貸出金、有価証券などの利息収支を示す「資金利益」、各種手数料などの収支を示す「役務取引等利益」、債券などの売買益を示す「その他業務利益」の合計です。

$$\text{業務粗利益率} = \frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times 100$$

2. 利益率・純益率

$$\begin{aligned} & \text{総資産(純)利益率(又は純益率)} \\ & = \frac{\text{(純)利益(又は純益)}}{\text{総資産(除く債務保証見返)平均残高}} \times 100 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \text{純資産(純)利益率(又は純益率)} \\ & = \frac{\text{(純)利益(又は純益)}}{\text{純資産(外部流出額を除く)期末残高}} \times 100 \end{aligned}$$

■ 出資配当等

(単位:千円、%)

項目	2015年度 (総会承認日 2016年6月27日)	2014年度 (総会承認日 2015年6月25日)
出資配当 (配当率)	162,013 (年4%の割合)	162,086 (年4%の割合)
配当負担率	13.61%	10.34%

(注)

$$\text{配当負担率} = \frac{\text{出資配当}}{\text{当期末処分剰余金}} \times 100$$

ATMの引出し手数料無料。
こんなサービスができるのは、
ろうきんが営利を目的にしているから。
あなたが預けたお金は、
同じはたらく仲間のために使ってるんだって。



けっし使える。
ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

